

2020年基準 消費者物価指数（大津市） 2023年度（令和5年度）平均

（令和6年4月19日公表）

1. 2023年度（令和5年度）平均消費者物価指数（大津市）概況

	指 数	前年度比(%)	概 況
総合指数	105.0	2.7	主に食料（7.4%）、教養娯楽（5.0%）等が上昇。年度を通して前年を上回る水準で推移。
生鮮食品を除く総合指数	104.5	2.5	年度を通して前年を上回る水準で推移。
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数	104.5	3.6	年度を通して前年を上回る水準で推移。

2. 総合指数の動き

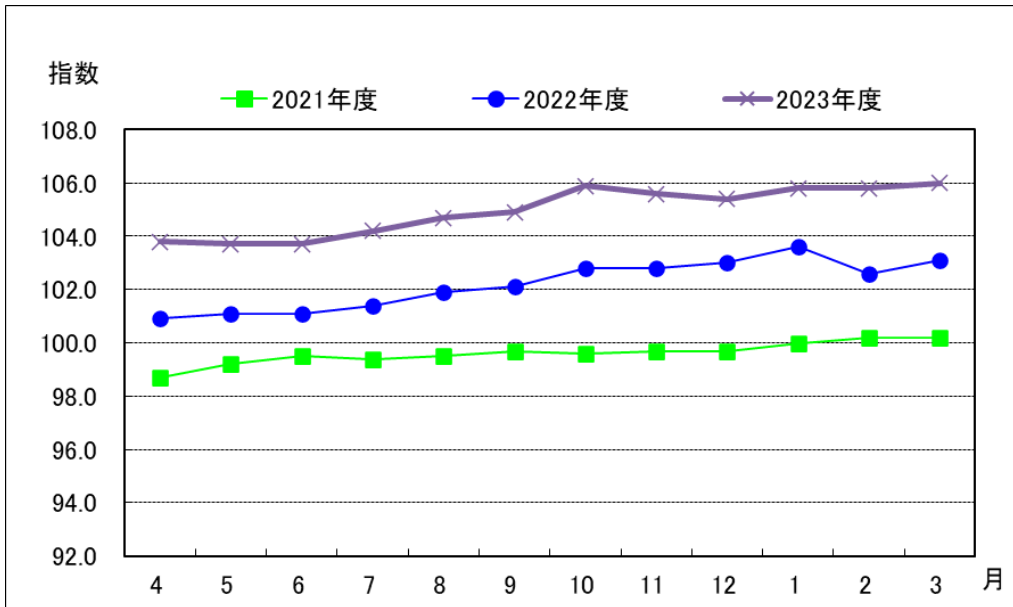
2023年度（令和5年度）の総合指数は105.0で前年度比2.7%となっており、年度を通して前年を上回る水準で推移しました。（図-1、2）

10大費目別に見ると、上昇に寄与した主な費目は「食料（7.4%）」、「教養娯楽（5.0%）」等で、おおむね前年および前々年を大きく上回る水準で推移しました。（図-7、8）

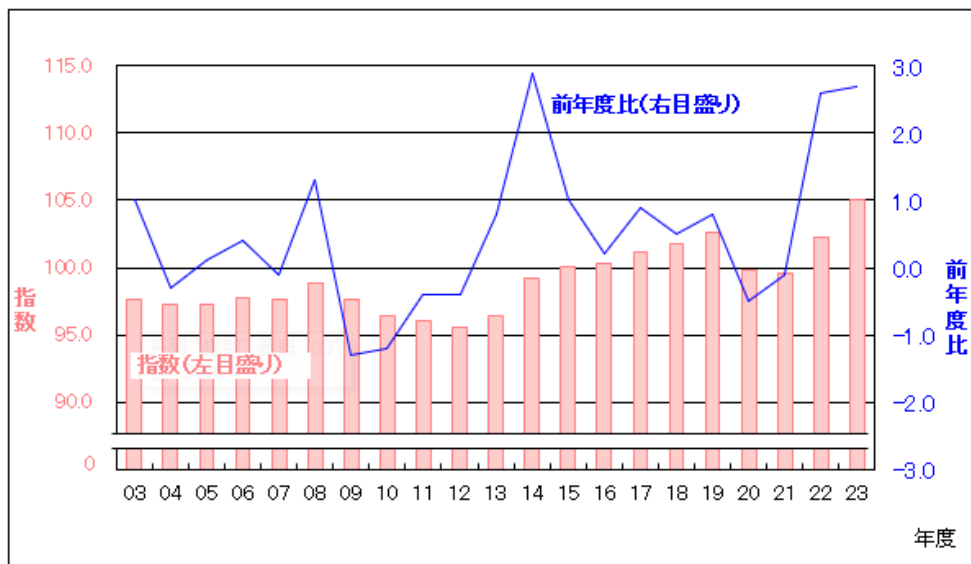
生鮮食品を除く総合指数は104.5で前年度比2.5%となっており、前年を上回る水準で推移しました。（図-3、4）

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は104.5で前年度比3.6%となっており、年度を通して前年を上回る水準で推移しました。（図-5、6）

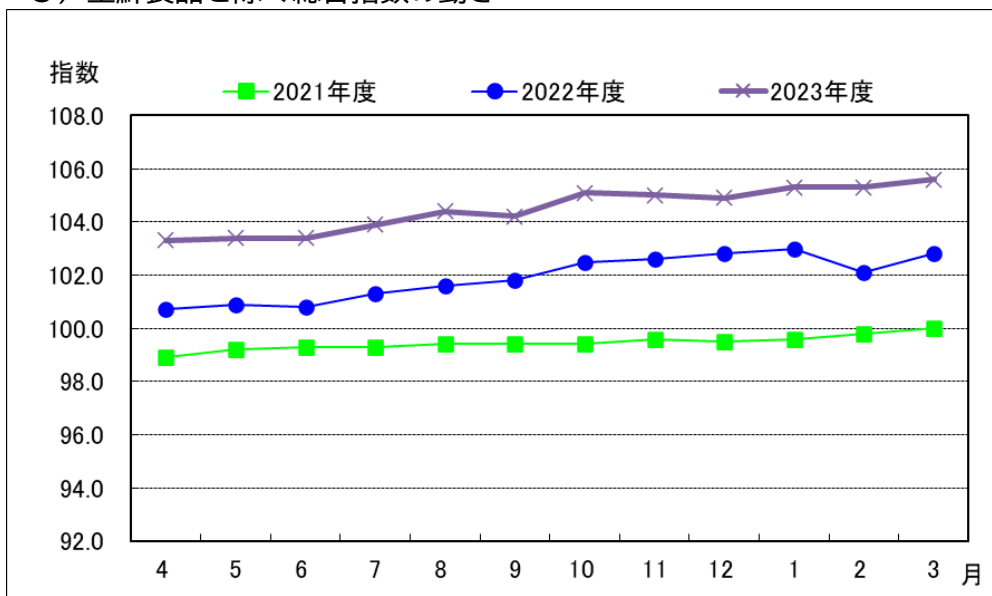
(図-1) 総合指数の動き



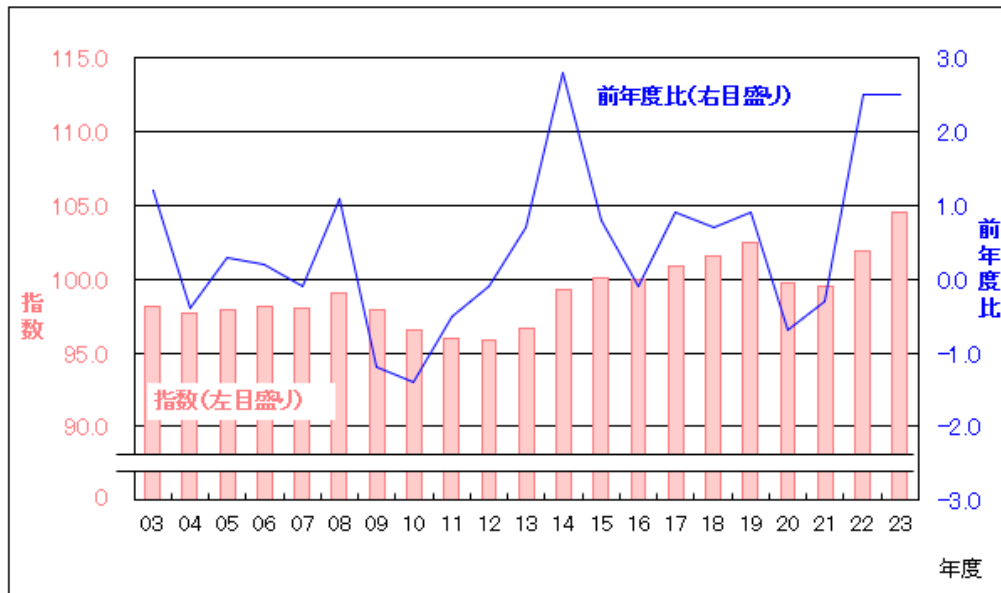
(図-2) 総合指数と対前年度比の動き



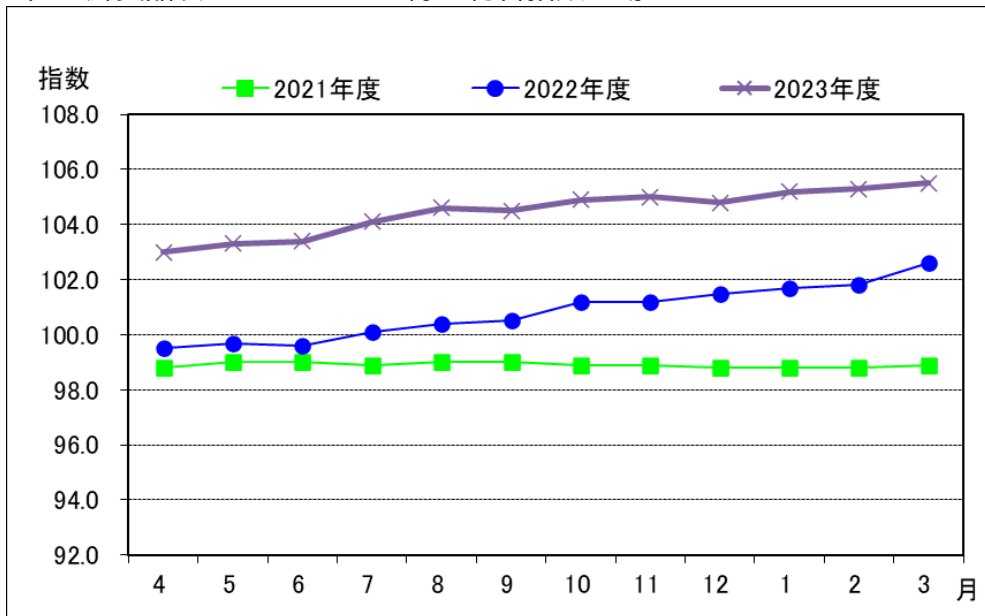
(図-3) 生鮮食品を除く総合指数の動き



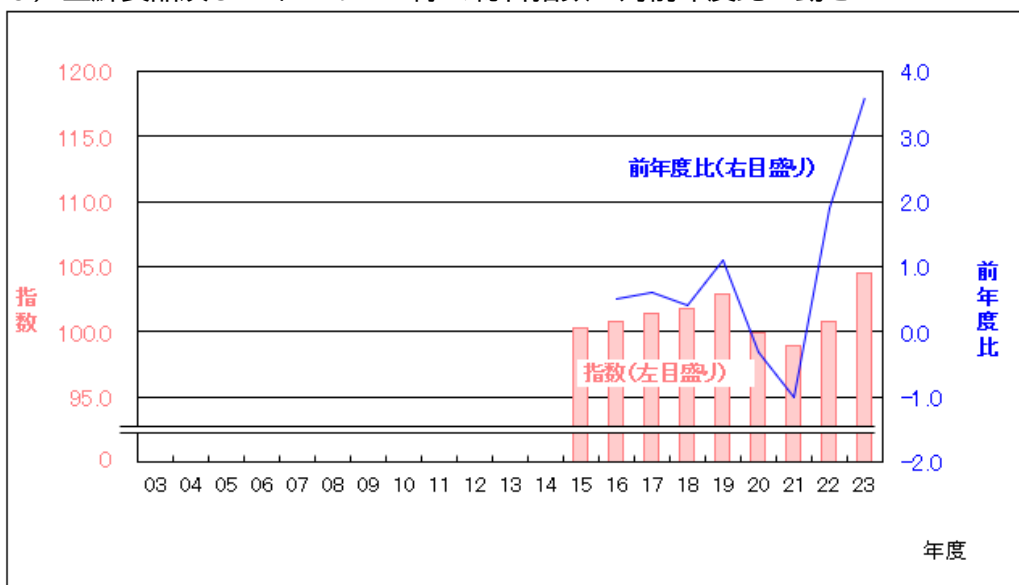
(図-4) 生鮮食品を除く総合指数と対前年度比の動き



(図-5) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



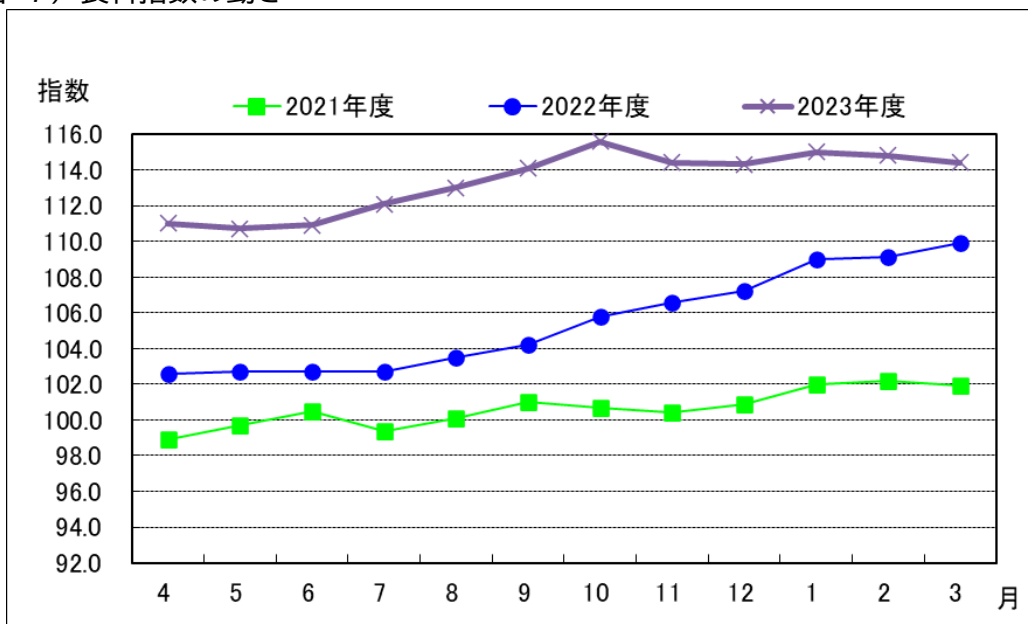
(図-6) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数と対前年度比の動き



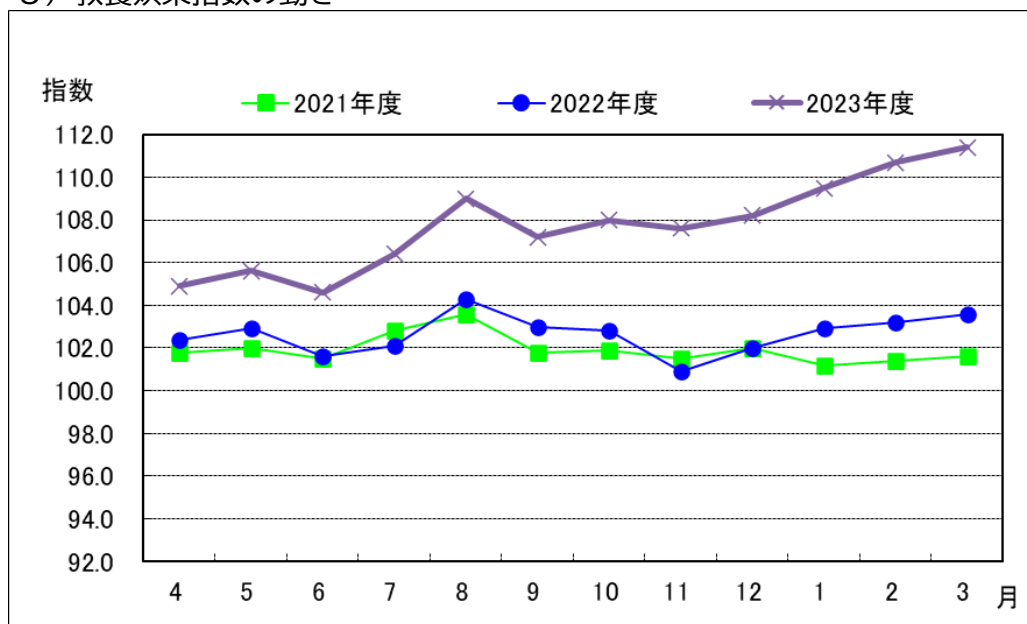
● 総合指数に寄与した主な項目（10大費目）

◆前年を上回って推移した費目

(図-7) 食料指数の動き



(図-8) 教養娯楽指数の動き



3. 10大費目指数と前年度比および寄与度

2020年=100

10大費目名	指数	前年比(%)	寄与度	寄与の大きい項目 (中分類等・対前年上昇率)
食料	113.4	7.4	2.06	調理食品 8.6
住居	102.2	0.5	0.08	設備修繕・維持 1.2
光熱・水道	98.3	-11.3	-0.83	他の光熱 0.3
家具・家事用品	111.1	6.0	0.24	家事用消耗品 12.1
被服及び履物	107.1	3.8	0.14	洋服 5.3
保健医療	99.8	1.9	0.09	医薬品・健康保持用摂取品 4.3
交通・通信	96.3	2.1	0.33	自動車等関係費 1.7
教育	101.0	0.9	0.03	授業料等 1.0
教養娯楽	107.8	5.0	0.49	教養娯楽サービス 5.3
諸雑費	103.4	0.7	0.04	身の回り用品 2.9

注) 寄与の大きい項目は、各10大費目に対する寄与度が最大の項目のみ掲載しています。

4. 総合指数の前年度比に対し寄与の大きかった中分類指数等

● 上昇した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

調理食品〔食料〕	(+)	8.6%
教養娯楽サービス〔教養娯楽〕	(+)	5.3%
外食〔食料〕	(+)	5.8%
乳卵類〔食料〕	(+)	17.2%
菓子類〔食料〕	(+)	8.2%
穀類〔食料〕	(+)	8.6%
自動車等関係費〔交通・通信〕	(+)	1.7%
肉類〔食料〕	(+)	4.6%
家事用消耗品〔家具・家事用品〕	(+)	12.1%
通信〔交通・通信〕	(+)	4.7%
教養娯楽用品〔教養娯楽〕	(+)	6.1%
生鮮野菜〔食料〕	(+)	5.6%
飲料〔食料〕	(+)	6.5%
洋服〔被服及び履物〕	(+)	5.3%
生鮮魚介〔食料〕	(+)	5.5%
生鮮果物〔食料〕	(+)	8.2%
油脂・調味料〔食料〕	(+)	6.5%
家事雑貨〔家具・家事用品〕	(+)	9.8%
酒類〔食料〕	(+)	6.3%
書籍・他の印刷物〔教養娯楽〕	(+)	4.9%

● 下落した中分類指数等の主な項目（寄与度順）

電気代〔光熱・水道〕	(-)	19.8%
ガス代〔光熱・水道〕	(-)	8.1%

注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の前年度比が比較的大きな項目のみを掲載しています。〔 〕内は、10大費目名です。

注) 生鮮食品（生鮮魚介・生鮮野菜・生鮮果物）については、小分類指数です。

注) 寄与度：総合指数の上昇に対して各費目がどれだけ影響したかを示します。

【参考】近年の総合指数の動き

2020年度（令和2年度）の総合指数は、前年度比-0.5%の99.8となり、7月以降前年を下回る水準で推移しました。主に教育指数、光熱・水道指数がおおむね前年および前々年を下回る水準で推移しました。

2021年度（令和3年度）の総合指数は、前年度比-0.1%の99.6となり、10月までは前年を下回る水準で推移しました。主に交通・通信指数、保険医療指数がおおむね前年および前々年を下回る水準で推移しました。

2022年度（令和4年度）の総合指数は、前年度比+2.6%の102.2となり、前年を上回る水準で推移しました。主に食料指数、光熱・水道指数がおおむね前年および前々年を上回る水準で推移しました。